

# こらぼーよ

“こらぼーよ”って？

コラボレーション(共同、協力)と「～しようよ」を組み合わせ、『みんな協働で男女共同参画センターで男女共同参画社会の実現に向けて活動しようよ』という思いが込められた愛称です。

2010. 10月発行・第15号



## こらぼーよフェスタ

「私たちのコミュニケーションづくり」—めざそう! 明るい未来につながる仲間づくり—

日時: 10月16日(土) 12:30~  
オープニング(13:00)

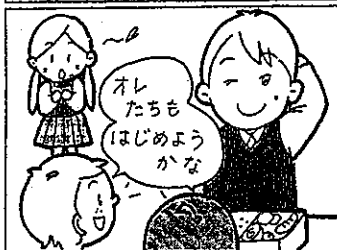
アカベラグループ  
「Wish」も来るよ

会場: 三木市男女共同参画センター(教育センター4F)

内容: ☆活動発表 ☆募集川柳披露 ☆朗読劇  
☆高坂純子さんの講演(兵庫県生涯学習話し方講師)  
☆手作り手芸品・食品の販売 ☆パネル展示

☆詳しくはフェスタ案内チラシをご覧ください。☆

盛りだくさんの子育て  
応援情報を展示してい  
ます



「子ども」の視点から考える男女共同参画社会

## ただいま5歳！料理上手な息子を夢みて…②

できることから始めよう

前回、「ママばかり料理し、なぜパパはしないの？」と息子に不思議がられた話をご紹介しました。子どもには「男は仕事、女は家事・育児」と決めつける考え方がないと気づかされるエピソードで、今後どんどん息子に料理を手伝わせてみようと思った話でしたが、皆さんは子どもの前で男女共同参画社会の実現にむけて気をつけてる事がありますか？・・・そんなのない？ 面倒？ 関係ない？ いえいえ大変重要なことなんですよ、これが。

女の子に優しさ、気立ての良さを求め、男の子に強さを求めた結果、固定的な役割分担意識が育ちます。子どもが最初に見る社会は「家・家族」ですから、もし、その最初に見る小さな社会で、料理するのは女の役割であり、掃除・洗濯をするのも女の役割と位置づけられているならば、子どもはそれをマネします。男の子なら料理・掃除・洗濯をするのは僕の仕事じゃないと。この男の子がやがて大きくなり、不況・高齢化社会を背景に、親の介護の必要にせまられた時、身の回りのことがうまくできない（訓練されていない）ことでストレスを感じ、また、男が料理・掃除・洗濯をするという体裁の悪さから不満がつり、精神を病み、拳げ匂の果てに自殺するケースもあります。ね？ このように男女共同参画社会の実現は女性だけでなく男性にも大変重要なのです。子ども達の将来の生き方に制約を与えないために、皆さんは何から始めますか？

## 「おはよう」は魔法のことば!?

アメリカの姪の家で、ある朝、2階から降りてきた姪の娘の3歳のエマちゃんに、私が「おはよう！」と声をかけた。はにかんだ様子の彼女に「おばちゃんにおはようは？」とパパが言う。寝起きで、おまけにちょっぴり頑固な彼女は口をつくんだままだ。何度かのやり取りの後、口を開かない彼女に業を煮やしたパパは「挨拶がちゃんと言えない子は、あっちへ行っていないさい」と部屋の隅を指さした。それでも動かない彼女はとうとう抱えられ、泣きべそをかきながら隅へと連れて行かれた。

それを見ていた私は、(朝の挨拶くらい、もう少し大きくなれば自然に言えるのにな。あんなに厳しく言わなくても)と、ひそかに思ってしまう。

また、パパの実家で、親戚一同全員で17人の食事の時に、2歳になったばかりの男の子が、まわりに何か注意されていた。「ごめんなさいが言えないんだったら、あちらで反省していないさい」と、彼はやはり部屋の隅へ。

「おはよう」「ありがとう」「ごめんなさい」は、コミュニケーションに欠かせない大切な言葉だ。その大切さを小さい時からきちんと我慢強く教え込むその姿勢には、感服だ。若い親も、子どもの時そうやってしつけられ、自分も子どもをしつける。アメリカは、色々な人種がいて、言葉も多種多様。そんな環境では、挨拶や感謝、謝罪の言葉が重要な意味を持つからだろう。

日本でも、本当にこの前まで、家の中も外も人と人との距離が近く、挨拶も当たり前だった。しかし、現在では核家族化が進み、携帯電話やパソコンが普及した。直接人と人触れ合うことが少なくなり、自分の考えていることを伝えたり、他人の言うことを理解したりする力は弱くなってきたのではないだろうか。もう一度「おはよう」等の言葉の重要性を再確認し、子ども達に伝えたいと思う。



# 私もあなたも話し上手 ～笑顔で話してみましよう！～に参加して



9月2日、まなびの郷みずほにて三木市高齢者大学の皆さん約240名と一緒にセミナーに参加しました。

講師の高坂さんが壇上から降り、受講生のそばで名前を呼び話しかけ、受講生が軽妙に答えるという、笑いとりラ

ックスムードの中で講座が始まりました。知らない人同士ペアになって挨拶の練習を終えた頃にはすっかり親しい人同士になっていました。「挨拶は会話の始まり」であり「声や笑顔が届いてこそ挨拶が生きる」、挨拶の大切さや正しい挨拶の仕方を実体験しました。又「話し上手は聞き上手」といわれ、  
○ 徳の字には心がある、話す時も聞く時も心の窓を開け風通しよくと学びました。あがり症は当たり前、みんな緊張するんです、笑顔でカバーしましょうと

も話されました。椅子から立ち上がり大きく口を開けての発声練習もあり参加型の講座はあっという間でした。

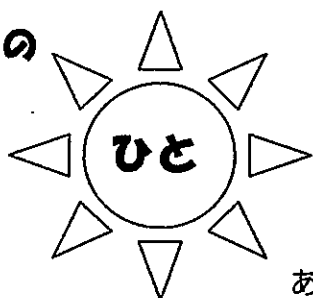
男女共同参画社会実現に向けて男性も女性も、できること・簡単なことから助け合いましょう。そんな時も、きっかけの言葉やねぎらいの言葉があるといいですね。子ども達にも男だから女だからと押しつけず、気持ちを尊重し一緒に考えてあげてくださいと話されました。挨拶から始まるコミュニケーションを大事にして風通しのいい関係が築けるといいなと思いました。

さて講師によると「あいさつ」の「あ」は愛を込めてですが、「い」「さ」「つ」は何だと思えますか？  
(答えは最後のページをご覧ください)

講師：高坂純子 兵庫県生涯学習話し方講師  
兵庫県こうのとり大使 他



## 三木の



## 文庫活動での地域とのつながり

みどり文庫 代表 加藤加代子さん



緑が丘のコープの近くに“みどり文庫”があります。加藤さんのご自宅の一室はたくさん

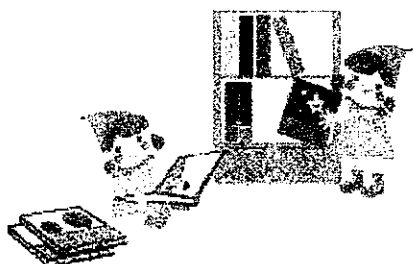
の本と美味しそう焼きたてパンが並び、ワクワクします。もともと教師をされていた加藤さんは子供が大好きで、自分の子供たちが小さかった時に当時のママ友達のあいだで絵本サークルの活動を始めました。その頃に桜が丘で文庫を開いていた方の影響を受けて“みどり文庫”が出来たのです。現在7年目を迎えました。

はじめた頃は本も少なく、人が来ない日が続いたこともあったそうですが、今ではパンを焼き、1個50円で募金箱に入れてもらい、それを資金に本を購入というスタイルが定着しているとのこと。みどり文庫で楽しそうにパンを焼いているスタッフさん達は、かつて絵本サークルを一緒にしていたときのママ友達で「ここに来るとホッとします。加藤さんのあたたかい人柄に和まされる。いつまでも続けていきたい」と熱く話していました。

こんなスタッフさん達を見て、地域の中で信頼関係を築けることがとても羨ましく思いました。

みどり文庫に来ているのは赤ちゃんからご年配の方までと年齢層は幅広く、本を借りに、パンを買いに、宿題をしに、子育て相談に、おしゃべりに、などさまざま。「みんなの居場所として気軽に来てくれて、本が大好きになってくれたらいいな～」と話していた加藤さんにはまだまだ夢がありそうです。

まちの子育てひろば『みどり文庫』第2・4火曜日 16:00～18:00





『できるパパは子どもを伸ばす』

～今すぐ取り組める13のステップ～

山本直美 著 東京書籍 2006年発行

子どもの可能性を引き出し、自立させていくことが父親は上手です。子育て上手になったパパたちは共通して仕事ができる!しかも、ママや子どもたちから大切にされ、何よりパパ自身がとても幸せそうです。——「はじめに」より

冒頭に「できるパパ度チェックシート」がついています。ぜひ、子育てを楽しむステキなパパに!

- 家族のことを一番に考える
- 信念がある
- 料理ができる
- ユーモアがある
- 家族の5年後、10年後を楽しみにしている
- 食べることに興味がある
- 穏やかに話ができる
- ことばの表現力が豊かである
- 時にはママとデートする

(一部抜粋)

☆☆図書の貸し出しは1回2冊2週間まで☆

『デートDVを知っていますか』

NPO法人 DV防止ながさき編 2005年発行

「若い人たちの心と体を守りたいから、今、知って欲しいこと」と副題にある通り、具体的な事例を通して「DV」の意味を説明。知らないうちに加害者や被害者になってしまわないように、項目を細かく分けて解説しています。読み易く、解り易いテキストのような本です。年齢、男女を問わず、一読をお勧めします。

女性に対する暴力をなくす運動

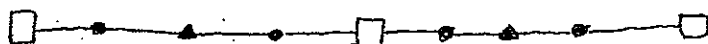
期間:11月12日~25日



ドメスティック・バイオレンス(DV)、性犯罪、売買春・人身取引、セクシュアルハラスメント、ストーカー行為等、女性に対する暴力は、女性の人権を著しく侵害するもので

あり、決して許されないものです。また男女共同参画社会を形成していくうえで重要な課題です。

三木市男女共同参画センターでは、高校生を対象に「デートDV防止のセミナー」を行っています。



女性のための相談室

相談無料・秘密厳守

女性問題相談員が相談に応じます

(予約制) 面接相談

火曜日/13:00~16:00

木曜日/10:00~12:00

(予約受付) TEL 0794-89-2331

月~金/9:00~17:00

電話相談

火曜日/10:00~12:00

木曜日/13:00~16:00

専用電話 0794-89-2354

「女性のためのチャレンジ相談」

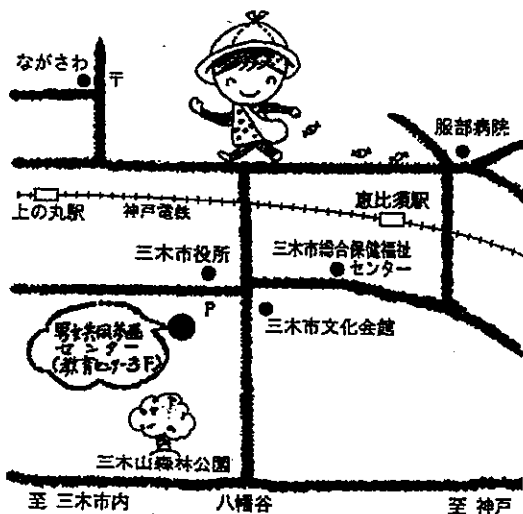
10/20、11/17、12/15 水曜

10:00~12:00 (1回50分)

- ・再就職したいけど、どんな職種が私にあってるかしら?
- ・働いた時の年金や税金のことで聞きたい
- ・地域活動に興味があるけれど・

専門の知識・経験を持つ女性相談員がお答えします。

\*\*\* 要予約 0794-89-2331 \*\*\*



三木市男女共同参画センター

(愛称こらぼーよ)

〒673-0433 三木市福井 1933-12

(三木市立教育センター3F)

TEL&FAX 0794-89-2331

開館時間 9:00~17:00

休館日 土・日・祝日・年末年始

E-mail:jinken@city.miki.lg.jp

ホームページや広報みきもご覧ください

編集後記

家族円満になる魔法はね、おはよう、行ってきます(行ってらっしゃい)、ただいま(おかえり)、いただきます(ごちそうさま)、ありがとう、ごめんなさい、おやすみ・・・を言うだけでいいのよ ☆by 魔女ツラボちゃん

企画編集: 情報誌こらぼーよ編集グループ 発行: 三木市男女共同参画センター